

人間工学を応用した製品デザインの進め方

セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/240520>1名料金で
2人目無料

- ◆日時: 2024年05月24日(金) 12:30~16:30
- ◆【アーカイブ配信受講: 5/27(月)~6/3(月)】を希望される方は、
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/240520A> こちらからお申し込み下さい。
- ◆会場: 【WEB限定セミナー】※ご自宅や職場でご受講下さい。
- ◆受講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で49,500円(税込)から
・1名で申込の場合、**46,200円(税込)**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計49,500円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 国立大学法人千葉大学 デザイン・リサーチ・インスティテュート教授 博士(工学)下村 義弘 氏
【ご専門】人間工学、生理人類学

【習得できる知識】

人間工学の基本的な考え方を理解し、人間の特性を設計に反映したり、人間に基づく指標で製品を評価したりする方法の基礎を習得できます。

【講演の趣旨】

人間工学に基づいた製品という言葉をよく耳にしますが、残念ながら多くの製品で、それは単なる宣伝文句にすぎません。人間工学が実質的に導入されているかどうかを見極めるのも、困難なことがあります。また多種多様でばらつきの大きい人間の特性はつかみどころがなく、どのように製品を企画してその仕様に落とし込んでいくか、そういった方法に困難を感じていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは人間工学の定義と考え方を最初に概説し、ユニバーサルデザインやアフォーダンスといった既存のデザイン概念を批評します。そのうえで人間の特性データや生理測定方法を紹介し、データをどのように設計に反映させるのか、そして製品仕様をどのように評価するのか、ということについて説明します。具体的な事例によって使いやすさや快適性の評価方法を概観し、人間工学を応用した製品デザインの進め方を説明します。このセミナーによって、真に人間工学に基づいたデザインを展開するビジョンと方法を習得しましょう。

【プログラム】

1. 人間工学の基礎
 - 1-1. 人間と機械は一体化したシステムである
 - 1-2. 人間工学を導入する目的
 - 1-3. ヒューマンエラーは原因ではなく、結果である
 - 1-4. 生理的負担
2. 既存のデザイン概念がかかえる問題と新たな着眼点
 - 2-1. ユニバーサルデザイン
 - 2-2. アフォーダンス
3. 人間の特性と生理測定方法
 - 3-1. 自然環境で700万年をかけて培われた生理機能
 - 3-2. “感性”という生理機能
 - 3-3. 認知や行動は感性と身体機能によって作られる
 - 3-4. 主観評価の妥当性
 - 3-5. 無意識下の反応の重要性
 - 3-6. 使いやすさや快適性にせまる生理測定方法
4. 人間中心の製品デザインの進め方
 - 4-1. 物がこうだから、ではなく、人がこうだから、の視点
 - 4-2. 課題設定から評価までのプロセス
 - 4-3. 実験の方法
5. 事例紹介
 - 5-1. 手で使う道具のデザイン
 - 5-2. パッケージデザイン
 - 5-3. サービスデザイン
 - 5-4. 医工学デザイン
 - 5-5. 光環境のデザイン

『人間工学』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒< LIVE / アーカイブ >

会社・大学	
住所	〒
電話番号	FAX

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>